

## 運用報告書 (全体版)

### D I A M欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年3月7日から2019年3月1日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「D I A Mケイマン・ファンド・ダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン (毎月決算) クラス」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「D I A Mマネーマーケットマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として、円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に欧州の金融機関が発行するユーロ建てのハイブリッド証券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 投資対象とする外国投資信託において原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日 (原則として毎月2日。休業日の場合は翌営業日。) に、経費控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：ユーロ・プライム

第49期 <決算日 2018年4月2日>  
 第50期 <決算日 2018年5月2日>  
 第51期 <決算日 2018年6月4日>  
 第52期 <決算日 2018年7月2日>  
 第53期 <決算日 2018年8月2日>  
 第54期 <決算日 2018年9月3日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)」は、2018年9月3日に第54期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## D I A M欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)

### ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 資産組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率		
第5作成期	25期(2016年4月4日)	円 8,984	円 20	% 4.7	% 96.6	百万円 120
	26期(2016年5月2日)	8,725	20	△2.7	96.4	117
	27期(2016年6月2日)	8,673	20	△0.4	97.6	108
	28期(2016年7月4日)	8,043	20	△7.0	97.4	100
	29期(2016年8月2日)	8,197	20	2.2	97.3	90
	30期(2016年9月2日)	8,312	20	1.6	97.3	91
第6作成期	31期(2016年10月3日)	8,127	20	△2.0	97.2	85
	32期(2016年11月2日)	8,241	20	1.6	97.2	86
	33期(2016年12月2日)	8,564	20	4.2	97.2	81
	34期(2017年1月4日)	8,774	20	2.7	97.3	83
	35期(2017年2月2日)	8,680	20	△0.8	97.2	82
	36期(2017年3月2日)	8,612	20	△0.6	97.2	72
第7作成期	37期(2017年4月3日)	8,566	20	△0.3	97.2	72
	38期(2017年5月2日)	8,787	20	2.8	97.2	74
	39期(2017年6月2日)	9,097	20	3.8	97.2	76
	40期(2017年7月3日)	9,285	20	2.3	97.2	77
	41期(2017年8月2日)	9,565	20	3.2	97.3	79
	42期(2017年9月4日)	9,575	20	0.3	97.3	79
第8作成期	43期(2017年10月2日)	9,684	20	1.3	97.3	78
	44期(2017年11月2日)	9,778	20	1.2	97.2	76
	45期(2017年12月4日)	9,844	20	0.9	96.8	75
	46期(2018年1月4日)	9,877	20	0.5	96.7	75
	47期(2018年2月2日)	9,938	20	0.8	96.5	72
	48期(2018年3月2日)	9,405	20	△5.2	96.5	68
第9作成期	49期(2018年4月2日)	9,356	20	△0.3	96.5	67
	50期(2018年5月2日)	9,393	20	0.6	96.5	68
	51期(2018年6月4日)	8,954	20	△4.5	97.6	63
	52期(2018年7月2日)	8,940	20	0.1	97.6	62
	53期(2018年8月2日)	9,119	20	2.2	97.6	64
	54期(2018年9月3日)	8,913	20	△2.0	97.5	62

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

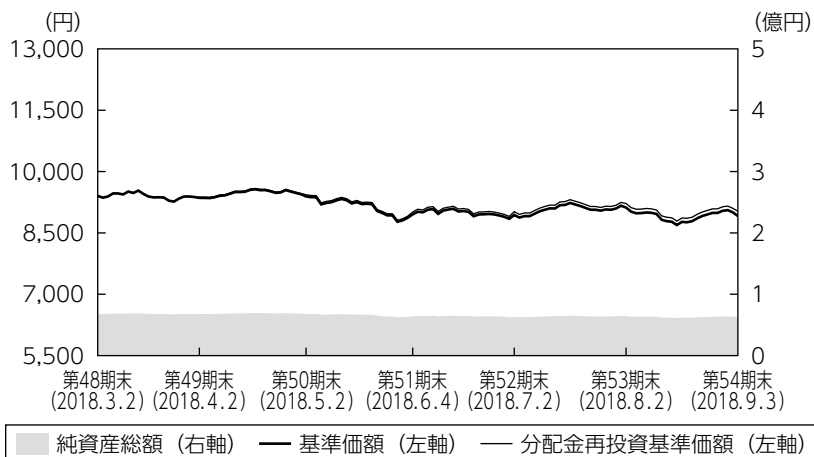
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落	率	
第 49 期	(期 首) 2018 年 3 月 2 日	円 9,405		% -	% 96.5
	3 月 末	9,377		△0.3	96.3
	(期 末) 2018 年 4 月 2 日	9,376		△0.3	96.5
第 50 期	(期 首) 2018 年 4 月 2 日	9,356		-	96.5
	4 月 末	9,477		1.3	96.3
	(期 末) 2018 年 5 月 2 日	9,413		0.6	96.5
第 51 期	(期 首) 2018 年 5 月 2 日	9,393		-	96.5
	5 月 末	8,806		△6.2	97.4
	(期 末) 2018 年 6 月 4 日	8,974		△4.5	97.6
第 52 期	(期 首) 2018 年 6 月 4 日	8,954		-	97.6
	6 月 末	8,845		△1.2	97.3
	(期 末) 2018 年 7 月 2 日	8,960		0.1	97.6
第 53 期	(期 首) 2018 年 7 月 2 日	8,940		-	97.6
	7 月 末	9,095		1.7	97.4
	(期 末) 2018 年 8 月 2 日	9,139		2.2	97.6
第 54 期	(期 首) 2018 年 8 月 2 日	9,119		-	97.6
	8 月 末	9,004		△1.3	97.3
	(期 末) 2018 年 9 月 3 日	8,933		△2.0	97.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■第49期～第54期の運用経過（2018年3月3日から2018年9月3日まで）

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

ハイブリッド証券利回りと国債利回りとの格差を示す信用スプレッドの拡大を背景にハイブリッド証券市場が下落したことや、為替市場においてもユーロ/円相場が小幅なユーロ安円高となったこと等がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス	△3.6%
D I A Mマネーマーケットマザーファンド	△0.0%

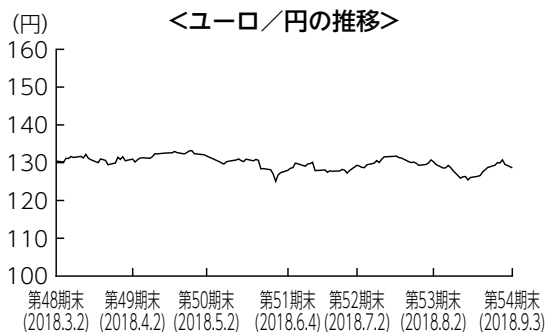
- (注) D I A Mケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 投資環境

ハイブリッド証券市場は下落しました。ドイツ国債利回りは2018年5月下旬にイタリアの政情不安を受けて大きく低下（価格は上昇）し、その後はほぼ横ばいの動きとなりました。イタリアの財政運営に対する不透明感、トルコリラの急落および欧州の銀行が保有するトルコ企業株や投資回収に対する懸念等を受けてリスク回避の動きが広がったことから、信用スプレッドは拡大しました。

為替市場では、ユーロ／円相場は小幅にユーロ安円高となりました。イタリアの政情不安が懸念材料となった2018年5月下旬とトルコリラが急落した8月中旬にユーロが大きく売られる局面がありましたが、欧州経済が引き続き底堅い動きをしていることや米国と欧州間の貿易面の緊張が緩和されたこと等がプラス材料となり、ユーロは回復傾向を示したものの、作成期初の水準までには至りませんでした。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.20\%$ ～ $\Delta 0.12\%$ 近辺で推移しました。2018年6月中旬ごろまでは緩やかに上昇（価格は下落）しましたが、7月末にかけて低下しました。7月31日の日銀金融政策決定会合において政策調整を行うとの観測記事によって国債市場のボラティリティ（価格の変動性）が高まりましたが、国内短期金融市場への影響は限定的でした。



## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I A M ケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A M マネーマーケットマザーファンドへの投資も行いました。

### ●D I A M ケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス

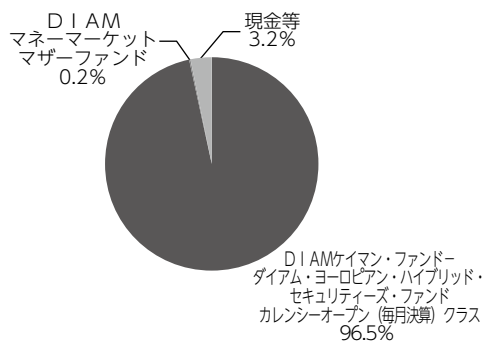
欧州の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、英国・ドイツ・オランダの投資比率を高く維持するとともに、イタリアの投資比率を引き下げました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

### ●D I A M マネーマーケットマザーファンド

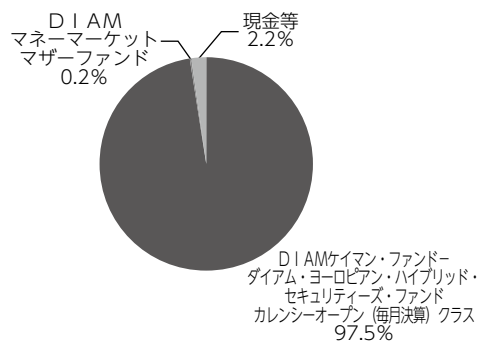
残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

## ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

### 前作成期末



### 当作成期末



## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2018年3月3日 ~2018年4月2日	2018年4月3日 ~2018年5月2日	2018年5月3日 ~2018年6月4日	2018年6月5日 ~2018年7月2日	2018年7月3日 ~2018年8月2日	2018年8月3日 ~2018年9月3日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.21%	0.21%	0.22%	0.22%	0.22%	0.22%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	820円	826円	826円	829円	838円	839円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I AMケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマーケットマザーファンドへの投資も行います。

### ●D I AMケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス

ハイブリッド証券市場は、リスク回避的な動きが強まる局面では価格下落リスクは高まりますが、主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、相対的に高い利回りを享受できるため、中長期的には堅調に推移すると思われる。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、欧州の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクに留意します。

### ●D I AMマネーマーケットマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第49期～第54期		項目の概要
	(2018年3月3日～2018年9月3日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.574%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,163円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(21)	(0.230)	
(販売会社)	(30)	(0.328)	
(受託銀行)	( 1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	53	0.575	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## ■ 売買及び取引の状況（2018年3月3日から2018年9月3日まで） 投資信託受益証券

		第 49 期 ～ 第 54 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 （邦 貨 建）	DIAMケイマン・ファンドーダイアム・ ヨーロッパ・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス	千口	千円	千口	千円
		—	—	0.1	853

(注) 金額は受渡代金です。



■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年3月3日から2018年9月3日まで）  
 期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2018年3月3日から2018年9月3日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ   ン   ド   名	第 8 作 成 期 末		第 9 作 成 期 末	
	□   数	□   数	評   価   額	比   率
	千□	千□	千円	%
D I A Mケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロッパン・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス	7.20596	7.10596	61,274	97.5
合   計	7.20596	7.10596	61,274	97.5

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 8 作 成 期 末		第 9 作 成 期 末	
	□   数	□   数	評   価   額	
	千□	千□		千円
D I A Mマネーマーケットマザーファンド	151	151		152

## ■投資信託財産の構成

2018年9月3日現在

項 目	第 9 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 61,274	% 97.2
D I A M マネーマーケットマザーファンド	152	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,607	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	63,034	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年4月2日)、(2018年5月2日)、(2018年6月4日)、(2018年7月2日)、(2018年8月2日)、(2018年9月3日)現在

項 目	第 49 期 末	第 50 期 末	第 51 期 末	第 52 期 末	第 53 期 末	第 54 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>67,986,537円</b>	<b>68,255,345円</b>	<b>64,182,501円</b>	<b>64,073,614円</b>	<b>64,468,096円</b>	<b>63,034,467円</b>
コール・ローン等	2,447,590	2,456,999	1,569,189	1,587,098	1,584,661	1,607,768
投資信託受益証券(評価額)	65,386,881	65,646,295	62,461,261	61,480,765	62,731,414	61,274,693
D I A M マネーマーケットマザーファンド(評価額)	152,066	152,051	152,051	152,051	152,021	152,006
未 収 入 金	-	-	-	853,700	-	-
<b>(B) 負 債</b>	<b>210,580</b>	<b>209,022</b>	<b>210,860</b>	<b>1,081,924</b>	<b>202,725</b>	<b>203,681</b>
未払収益分配金	144,878	144,887	142,895	140,923	140,952	140,979
未払解約金	-	-	-	885,100	-	-
未払信託報酬	65,520	63,955	67,793	55,761	61,618	62,542
その他未払費用	182	180	172	140	155	160
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>67,775,957</b>	<b>68,046,323</b>	<b>63,971,641</b>	<b>62,991,690</b>	<b>64,265,371</b>	<b>62,830,786</b>
元 本	72,439,183	72,443,567	71,447,635	70,461,792	70,476,003	70,489,966
次期繰越損益金	△4,663,226	△4,397,244	△7,475,994	△7,470,102	△6,210,632	△7,659,180
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>72,439,183口</b>	<b>72,443,567口</b>	<b>71,447,635口</b>	<b>70,461,792口</b>	<b>70,476,003口</b>	<b>70,489,966口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	9,356円	9,393円	8,954円	8,940円	9,119円	8,913円

(注) 第48期末における元本額は72,415,737円、当作成期間(第49期～第54期)中における追加設定元本額は93,674円、同解約元本額は2,019,445円です。

## ■損益の状況

〔自 2018年3月3日 至 2018年4月2日〕〔自 2018年4月3日 至 2018年5月2日〕〔自 2018年5月3日 至 2018年6月4日〕〔自 2018年6月5日 至 2018年7月2日〕〔自 2018年7月3日 至 2018年8月2日〕〔自 2018年8月3日 至 2018年9月3日〕

項 目	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期	第 54 期
(A) 配 当 等 収 益	216,032円	216,046円	213,671円	213,742円	213,083円	213,100円
受 取 配 当 金	216,179	216,179	213,813	213,828	213,179	213,179
受 取 利 息	-	3	-	-	-	3
支 払 利 息	△147	△136	△142	△86	△96	△82
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△360,314	259,241	△3,142,017	△114,175	1,250,619	△1,456,736
売 買 益	-	259,414	38,527	8,168	1,250,649	-
売 買 損	△360,314	△173	△3,180,544	△122,343	△30	△1,456,736
(C) 信 託 報 酬 等	△65,702	△64,135	△67,965	△55,901	△61,773	△62,702
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△209,984	411,152	△2,996,311	43,666	1,401,929	△1,306,338
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△3,996,247	△4,350,468	△4,027,337	△7,066,264	△7,163,521	△5,902,544
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△312,117	△313,041	△309,451	△306,581	△308,088	△309,319
(配 当 等 相 当 額)	(311,781)	(312,970)	(309,660)	(306,482)	(307,660)	(308,830)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△623,898)	(△626,011)	(△619,111)	(△613,063)	(△615,748)	(△618,149)
(G) 合 計 (D+E+F)	△4,518,348	△4,252,357	△7,333,099	△7,329,179	△6,069,680	△7,518,201
(H) 収 益 分 配 金	△144,878	△144,887	△142,895	△140,923	△140,952	△140,979
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△4,663,226	△4,397,244	△7,475,994	△7,470,102	△6,210,632	△7,659,180
追 加 信 託 差 損 益 金	△312,117	△313,041	△309,451	△306,581	△308,088	△309,319
(配 当 等 相 当 額)	(311,781)	(312,970)	(309,660)	(306,482)	(307,660)	(308,830)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△623,898)	(△626,011)	(△619,111)	(△613,063)	(△615,748)	(△618,149)
分 配 準 備 積 立 金	5,633,398	5,674,643	5,598,528	5,537,173	5,600,384	5,609,877
繰 越 損 益 金	△9,984,507	△9,758,846	△12,765,071	△12,700,694	△11,502,928	△12,959,738

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期	第 54 期
(a) 経費控除後の配当等収益	150,411円	186,961円	145,789円	157,907円	204,163円	150,472円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	311,781	312,970	309,660	306,482	307,660	308,830
(d) 分 配 準 備 積 立 金	5,627,865	5,632,569	5,595,634	5,520,189	5,537,173	5,600,384
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	6,090,057	6,132,500	6,051,083	5,984,578	6,048,996	6,059,686
(f) 1万口当たり当期分配対象額	840.71	846.52	846.93	849.34	858.31	859.65
(g) 分 配 金	144,878	144,887	142,895	140,923	140,952	140,979
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20	20

## ■分配金のお知らせ

決算期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期	第 54 期
1万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# D I A Mケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロッパン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

＜カレンシーオープン（毎月決算）クラス＞  
 ＜カレンシープレミアム（毎月決算）クラス＞

当ファンドは「D I A M欧州ハイブリッド証券ファンド」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍円建て外国投資信託
投 資 対 象	<p>主として欧州の金融機関<sup>(*)1</sup>が発行するユーロ建てのハイブリッド証券<sup>(*)2</sup>、ならびに円に対するユーロのコール・オプション取引（カレンシープレミアム（毎月決算）クラスのみ）を投資対象とします。</p> <p>(*)1 欧州の金融機関とは、欧州地域（欧州連合（E U）加盟国、スイス、ノルウェー）に本店が所在する金融機関（金融機関に関連する特別目的会社、保険会社を含みます）をさします。</p> <p>(*)2 ハイブリッド証券とは、債券と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債券、優先出資証券などをさします。</p>
投 資 態 度	<p>①主として欧州の金融機関が発行するユーロ建てのハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。</p> <p>②ハイブリッド証券への投資にあたっては、信用リスクに留意しつつバリュエーションの観点も踏まえて銘柄を選定します。</p> <p>③投資対象とするハイブリッド証券は、取得時においてB B B格相当以上<sup>(*)3</sup>の格付が付与されている銘柄とします。</p> <p>(*)3 ムーディーズでB a a 3以上、スタンダード&amp;プアーズでB B Bー以上、フィッチでB B Bー以上とし、複数の格付機関が付与している場合は最も高い格付を採用します。</p> <p>④同一発行体の発行する証券への投資は、原則として、取得時において純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑤組入外貨建て資産に対する為替運用戦略は、各クラスによって以下のとおりとします。</p> <p>＜カレンシーオープン（毎月決算）クラス＞                      原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>＜カレンシープレミアム（毎月決算）クラス＞                      原則として対円での為替ヘッジを行いません。また、円に対するユーロのコール・オプションを売却し、オプション・プレミアムの獲得をめざします。</p>
主 な 投 資 制 限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②流動性に欠ける資産への投資は、価格の透明性を確保する適切な措置が講じられない限り、信託財産の純資産総額の15%を超えないものとします。</p> <p>③信託財産の純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</p> <p>④投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <p>⑤金融商品取引法上の有価証券および有価証券関連デリバティブ取引への投資比率は信託財産総額の50%以上とします。</p>
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッド
受 託 銀 行	C I B Cバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー
保 管 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー

D I AMケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2017年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2017年12月31日現在の財務諸表の原文の一部を抜粋・翻訳したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（ダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

**損益計算書**  
**自 2017年1月1日 至 2017年12月31日**  
 (日本円建て)

<b>投資収益</b>		¥	48,039,702
受取利息－源泉税控除			48,039,702
<b>投資収益合計</b>			<b>48,039,702</b>
<b>費用</b>			
投資運用報酬			6,761,557
保管手数料			4,245,864
専門家報酬			3,906,921
会計処理・管理事務手数料			2,687,668
信託報酬			2,243,032
証券代行手数料			394,392
その他費用			401,192
<b>費用合計</b>			<b>20,640,626</b>
<b>純投資収益</b>			<b>27,399,076</b>
<b>実現損益および未実現評価損益の純変動：</b>			
<b>実現損益：</b>			
投資有価証券売却			(58,061,401)
外貨取引および為替先渡契約			7,923,111
売建オプション			(49,553,972)
<b>実現純損失</b>			<b>(99,692,262)</b>
<b>未実現評価損益の純変動：</b>			
投資有価証券			260,891,529
外貨取引および為替先渡契約			(1,053,381)
売建オプション			(9,740,677)
<b>未実現評価益の純変動</b>			<b>250,097,471</b>
<b>実現損失および未実現評価益の純変動</b>			<b>150,405,209</b>
<b>運用による純資産の純増額</b>		¥	<b>177,804,285</b>

	発行済受益権口数	1口当たりの純資産価額
OAクラス	1,178	¥11,206
OMクラス	7,606	¥9,605
PAクラス	13,573	¥11,288
PMクラス	203,974	¥4,773

(注) D I AMケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドは複数のクラスで構成されています。上記のOAクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)」が投資するカレンシーオープン (年1回決算) クラス、OMクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)」が投資するカレンシーオープン (毎月決算) クラス、PAクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替プレミアム (年1回決算型)」が投資するカレンシープレミアム (年1回決算) クラス、PMクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替プレミアム (毎月決算型)」が投資するカレンシープレミアム (毎月決算) クラスです。

要約組入資産明細  
2017年12月31日現在

銘柄	元本金額	取得原価	公正価値	対純資産 比率
<b>確定利付証券</b>				
<b>社債</b>				
ベルギー				
金融		¥ 26,227,111	¥ 27,135,293	2.2%
デンマーク				
金融		27,800,964	28,884,904	2.4%
フランス				
金融				
Banque Federative du Credit Mutuel S.A. 3.00% due 05/21/24	EUR 500,000	69,602,635	74,894,598	6.2%
その他		78,172,589	84,404,127	6.9%
フランス合計		<u>147,775,224</u>	<u>159,298,725</u>	<u>13.1%</u>
ドイツ				
金融		168,879,908	178,939,390	14.8%
アイルランド				
金融				
Aquarius & Investments PLC for Zurich Insurance Co., Ltd. 4.25% due 10/02/43	EUR 400,000	58,682,741	63,046,694	5.2%
イタリア				
金融		161,192,247	170,190,107	14.0%
オランダ				
金融				
ELM BV for Swiss Reinsurance Co., Ltd. 2.60%	EUR 500,000	66,081,109	70,839,808	5.8%
その他		172,323,952	188,262,410	15.6%
オランダ合計		<u>238,405,061</u>	<u>259,102,218</u>	<u>21.4%</u>
スペイン				
金融		39,964,083	42,563,174	3.5%
スウェーデン				
金融		13,862,987	14,333,383	1.2%
英国				
金融		219,345,110	233,214,784	19.2%
社債合計		<u>1,102,135,436</u>	<u>1,176,708,672</u>	<u>97.0%</u>
確定利付証券合計		<u>1,102,135,436</u>	<u>1,176,708,672</u>	<u>97.0%</u>
現金およびその他資産に対する負債超過額			36,400,358	3.0%
純資産			<u>¥ 1,213,109,030</u>	<u>100.0%</u>

クラス・カレンシー・プレミアム（年一回）－2017年12月31日現在の売建オプション残高（対純資産比率 －0.2%）：

銘柄	権利行使価格	満期日	枚数	プレミアム受取額	公正価値
コール－店頭 ユーロ・日本円	¥ 133	01/19/2018	1,135,000	¥ (1,006,467)	¥ (2,386,649)

クラス・カレンシー・プレミアム（毎月）－2017年12月31日現在の売建オプション残高（対純資産比率 －1.3%）：

銘柄	権利行使価格	満期日	枚数	プレミアム受取額	公正価値
コール－店頭 ユーロ・日本円	¥ 133	01/19/2018	7,415,000	¥ (6,575,284)	¥ (15,592,070)

デリバティブ商品の評価額

当ファンドのデリバティブ・ポジション（差金決済契約が適用されうるポジションを含む。）の概要は、以下の通りです。

契約先	契約先とのマスター 差金決済契約運用対象の デリバティブ負債	相殺可能な デリバティブ	非現金担保 差入額	現金担保 差入額	デリバティブ 負債純額*
JP Morgan Chase Bank N.A.	¥ (17,918,719)	¥ -	¥ -	¥ -	¥ (17,918,719)
	¥ (17,918,719)	¥ -	¥ -	¥ -	¥ (17,918,719)

\*純額とは、デフォルト発生時に契約先から受け取る未収入金、または契約先に支払う未払金を指します。差金決済は、同一法人と交わした同一の法的契約に基づき売買される取引において認められています。

通貨略称：

EUR－ユーロ

¥－日本円



D I AMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドの組入上位10銘柄

2017年12月29日現在

No.	銘柄名	国	金額 (円)
1	BANQUE FED CR 3% 05/21/24/EUR/	フランス	74,894,598
2	ELM BV (SWISS V/R /PERP//EUR/	オランダ	70,839,808
3	AQUA + INV ( V/R 10/02/43/EUR/	アイルランド	63,046,694
4	ASSICURAZION V/R 07/10/42/EUR/	イタリア	56,006,656
5	HBOS PLC V/R 03/18/30/EUR/	イギリス	55,572,500
6	BARCLAYS PLC V/R 02/07/28/EUR/	イギリス	53,871,701
7	ABN AMRO 7.125% 07/06/22/EUR/	オランダ	51,851,726
8	MUNICH RE V/R 05/26/42/EUR/	ドイツ	50,018,153
9	ALLIANZ SE V/R /PERP//EUR/	ドイツ	48,197,445
10	AVIVA PLC V/R 07/03/44/EUR/	イギリス	45,783,035

(注) 上記内容は、D I AMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドの管理事務代行会社であるブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コーのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。

# D I A Mマネーマーケットマザーファンド

## 運用報告書

第5期 (決算日 2018年3月13日)

(計算期間 2017年3月14日～2018年3月13日)

D I A Mマネーマーケットマザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2013年3月19日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

### ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約 権付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	期騰落	中率				
(設定日) 2013年3月19日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 3
1期(2014年3月13日)	10,011	0.1	64.6	-	-	21
2期(2015年3月13日)	10,024	0.1	97.3	-	-	18
3期(2016年3月14日)	10,038	0.1	95.9	-	-	78
4期(2017年3月13日)	10,037	△0.0	65.9	-	-	78
5期(2018年3月13日)	10,031	△0.1	72.0	-	-	78

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

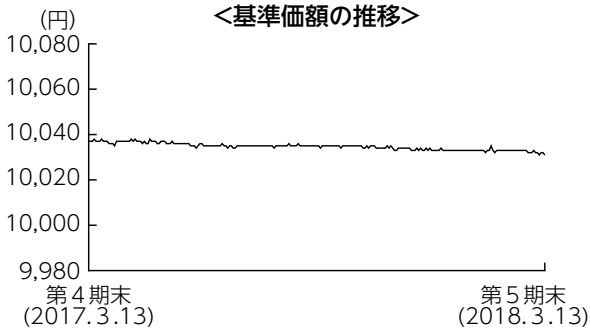
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 ( 転 換 社 債 ) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2017年 3 月 13 日	10,037	% -	% 65.9	% -	% -
3 月 末	10,036	△0.0	65.9	-	-
4 月 末	10,038	0.0	65.8	-	-
5 月 末	10,036	△0.0	65.8	-	-
6 月 末	10,034	△0.0	65.7	-	-
7 月 末	10,035	△0.0	65.7	-	-
8 月 末	10,035	△0.0	65.6	-	-
9 月 末	10,035	△0.0	65.5	-	-
10 月 末	10,034	△0.0	69.3	-	-
11 月 末	10,033	△0.0	69.2	-	-
12 月 末	10,033	△0.0	69.2	-	-
2018年 1 月 末	10,033	△0.0	75.6	-	-
2 月 末	10,032	△0.0	97.4	-	-
(期 末) 2018年 3 月 13 日	10,031	△0.1	72.0	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2017年3月14日から2018年3月13日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は10,031円となり、前期末比で0.1%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

日銀によるマイナス金利政策等の影響や、期初の国庫短期証券の買入れ減額によって利回りが上昇（価格は下落）したことで、基準価額は下落しました。

## 投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.35\% \sim \Delta 0.09\%$ 近辺で推移しました。期初には、日銀による国庫短期証券の買入れ減額などを受けて利回りが大きく上昇しました。その後は、米国での債務上限問題によって米国の財務省短期証券の代替として一部の資金が海外から日本の国庫短期証券に流入したことなどが利回りの低下（価格は上昇）要因となる一方、日銀による金融緩和策縮小への思惑などが上昇要因となるなど、もみ合う展開となりました。

## ポートフォリオについて

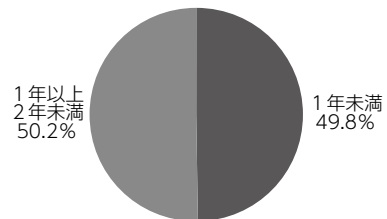
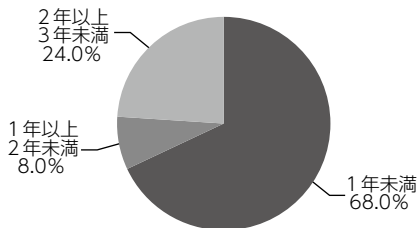
残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

### 【運用状況】

○残存年限別構成比 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

期首（前期末）

当期末



## 今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2017年3月14日から2018年3月13日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国 債 証 券	千円 20,056	千円 -
	地 方 債 証 券	3,003	(-)
	特 殊 債 券	17,240	(35,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2017年3月14日から2018年3月13日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 40	百万円 35	% 87.5	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

### 公社債

#### (A) 債券種類別開示

##### 国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 20,000	千円 20,047	% 25.5	% -	% -	% -	% 25.5
地 方 債 証 券	6,100	6,138	7.8	-	-	-	7.8
特 殊 債 券	30,000	30,453	38.7	-	-	-	38.7
合 計	56,100	56,638	72.0	-	-	-	72.0

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

#### (B) 個別銘柄開示

##### 国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(国債証券)</b>	%	千円	千円	
1 1 4 回 利付国庫債券（5年）	0.3000	20,000	20,047	2018/09/20
小 計	-	20,000	20,047	-
<b>(地方債証券)</b>	%	千円	千円	
2 回 東京都公募公債（東京グローバル都債（円貨））	0.1200	1,000	999	2018/12/07
2 5 年度 8 回 福岡県公募公債	0.2700	1,000	999	2018/12/25
2 5 年度 3 回 千葉市公募公債	0.2500	1,100	1,099	2018/12/26
2 6 年度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	1,000	998	2019/06/27
1 6 6 回 神奈川県公募公債	1.3600	1,000	1,020	2019/09/20
2 1 年度 2 回 京都府公募公債	1.4000	1,000	1,020	2019/09/25
小 計	-	6,100	6,138	-
<b>(特殊債券)</b>	%	千円	千円	
8 8 5 回 政保公営企業債券	1.7000	3,000	3,009	2018/05/22
1 5 回 政保東日本高速道路債券	1.3000	2,000	2,025	2019/02/25
4 回 政保阪神高速道路会社債	1.3000	15,000	15,201	2019/03/18
7 回 政保地方公営企業金融機構債券	1.4000	1,000	1,015	2019/04/15
8 7 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.5000	9,000	9,201	2019/08/30
小 計	-	30,000	30,453	-
合 計	-	56,100	56,638	-

## ■投資信託財産の構成

2018年3月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	56,638	72.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	22,038	28.0
投 資 信 託 財 産 総 額	78,677	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月13日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	78,677,477円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	21,884,680
公 社 債(評価額)	56,638,950
未 収 利 息	76,141
前 払 費 用	77,706
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	78,677,477
元 本	78,432,736
次 期 繰 越 損 益 金	244,741
(D) 受 益 権 総 口 数	78,432,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,031円

(注1) 期首元本額 78,432,736円  
追加設定元本額 0円  
一部解約元本額 0円

(注2) 期末における元本の内訳  
USストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型 5,995,005円  
USストラテジック・インカム・アルファ 年1回決算型 2,398,003円  
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替ヘッジなし(毎月決算型) 151,597円  
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替ヘッジなし(年1回決算型) 50,463円  
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替プレミアム(毎月決算型) 4,150,985円  
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替プレミアム(年1回決算型) 701,252円  
豪州インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型) 44,851,989円  
豪州インフラ関連好配当資産ファンド(年2回決算型) 19,934,218円  
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり(毎月決算型) 99,612円  
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり(年2回決算型) 99,612円  
期末元本合計 78,432,736円

## ■損益の状況

当期 自2017年3月14日 至2018年3月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	504,798円
受 取 利 息	524,308
支 払 利 息	△19,510
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△551,334
売 買 損	△551,334
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△46,536
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	291,277
(E) 合 計(C+D)	244,741
次 期 繰 越 損 益 金(E)	244,741

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

## 《お知らせ》

■当ファンドにおいて、信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(平成30年3月1日)